



東橋付近の源氏川

水の思い出

～21～

昭和30年代までの源氏川、初夏にはいち面にホタルが飛びかい、うちわでホタル取り、家に持ち帰り蚊帳の中に放ち寝こぼしながらホタルの観察、楽しかった子どもの頃を思い出す。

川の所々には田んぼに水を引き入れるための堰場ができ、夏休みともなると、そこが天然のプールに早替り、子ども達の歓喜の声が一日中絶えることが無かった。堰場下の浅瀬では砂むぐりドジョウや赤シジミが沢山取れ、味噌汁などにして腹を満ちし自然の恵みを満喫し充実した日々を過ごした頃をなつかしく思い出す。これらの生き物が、源氏川では最近まったく見られなくなってしまった。残念である。

生活環境の変化とはいえ、今は、大人も子どもも川を汚しても何の罪悪感も無いようで、人々のモラルの低さには、あきれられるばかりである。

今からでも遅くはない。皆んなで川を汚さないよう心がけて、これらの生き物が一日も早く帰ってこられる良好な川の環境づくりに努力しようではありませんか。

川を大切に、水を大切に、命がけて (弘)

INTERVIEW

まこと
石橋 磨事さん（瑞竜町）



祝・剣道六段 合格!!

メジャーリーグで活躍されているイチロー選手の記録は、まだ記憶に新しいところです。日々鍛錬、自分の中で目標を持ち、純粹に成就させる気持ちを継続させることは大変です。常陸太田にもバットのかわりに竹刀を振りまわし、一生懸命剣道に打ち込んでいる人がいます。昇段審査試験の六段は合格率が15%前後とかなりの難関です。

★きっかけは？

私が小学生の頃、瑞竜町には、小学生が主体の瑞竜剣士隊というものがありませんでした。また、小学3年の時に剣道ができる先生が瑞竜小に転勤してこられ、その時から影響を受けました。

中学校の時は補欠でしたが、それでも熱意は冷めずに30年たちました。

★昇段審査試験とは？

昇段審査とは、試合をするわけではないのです。7人の審査員のうち5人以上が納得する打突が要求され、それは一撃で相手を仕留めるといふ至難の技です。一足一刀の間合いから互いに攻め合い、そのストーリーがあって必然的に一本となるもの（剣道界では理合という）でなければならないのです。

★絶対に最後まであきらめない！

その技のため稽古に励み、探究します。でもなかなか探し出せないのです。私の場合、足の運び・攻め（技を仕掛ける直前の足の動き）を感じとれたのは審査日4日前、さらに手の内（竹刀のにぎり方）を感じとったのは2日前でした。

探し求めているものをきっと見つけられる、絶対見つけてやる、と信じて突き進んだ結果だったと思っています。

（取材：沼田高宏）



石橋さんの所属する「水曜会」の皆さん

追記：石橋さんは、いろんな事に感謝していました。一緒に稽古していただいた方の事、応援してくれた方の事、剣道の理念の事。

これからは子ども達の目標・憧れになりたいとのことです。

きつとなれるでしょう。あの時の先生のように！

豊かさをさがしに川をめぐる



峰山を望む黄金色の田んぼ

陽の光もせせらぎの音も直接自分の身に届くように、車という金属のよるいを脱ぎ自転車で出かける初めての道。道で人とすれ違う時、初めて会った見知らぬ人同士でも、挨拶し挨拶を返してくれるまちに住む喜びは、自分の足で出かける小さな旅で見つける冒険の宝物です。今回は久慈川と里川という二つの川にはぐくまれた自然の恵みの探索に、常陸太田市の南の境へ出かけて見ましょう。



②里川と久慈川の合流

久慈川を越えて那珂町側の堤防より望む合流地点。



里川の堤防からの合流地点。手前の川の向うの藪の奥に久慈川がかすかに見えます。

《主なサテライト》

■自然環境分野

- ①瀬割堤
- ②久慈川と里川の合流点
- ③四堰床固め
- ④トンボの群生
- ⑤真弓山遠景
- ⑥鮭の遡上
- ⑦サギのコロニー
- ⑧ヒガンバナの群生
- ⑨アブラナ群生
- ⑩久慈川に沈む夕日

■歴史・民俗分野

- ⑪吉田神社
- ⑫静神社と山岡鉄舟筆編額
- ⑬鹿島神社

■産業分野

- ⑭ねぎ畑
- ⑮河合のホウキ

■地域文化 生活福祉分野

- ⑯八幡橋
- ⑰新落合橋

■スポーツ・健康分野

- ⑱サイクリングコース



常陸太田エコミュージアム モデルコース・モデルサテライトマップ 里川下流・久慈川コース



沿道のお家の門にポストが2つ、ご主人が趣味でおかれた骨董品、ほっと笑顔を導き出す風景です。

⑭一面のねぎ畑、緑の濃淡で作るパッチワークのよう



取材途中、総合的な学習で河合のホウキを調べていた佐竹小学校の5年生に会いました。訪れた先でいただいたというホウキは、教室のお掃除に活躍していることでしょう。

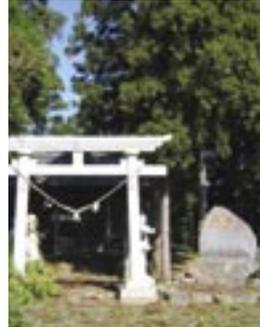
③四堰床固め



⑩10月の台風で壊れた八幡橋



⑪渡る時の音も懐かしい木造の橋、TVのロケにも使われた新落合橋



⑪吉田神社



⑫⑬隣同士に建つ静神社と鹿島神社、鳥居も仲良く並んでいます。静神社には山岡鉄舟筆の編額が納められています。

⑮河合のホウキ

昔は50軒以上もの農家で作られていた河合のホウキ、年末になるとホウキを背負って遠く福島県まで売りに歩いたのだそうです。現在、ホウキ草の栽培からホウキづくりまで行っているのは数軒になってしまいました。その中の一軒、横山さん宅でホウキづくりを拝見させていただきました。



8月下旬、ホウキ草の刈り取り



脱穀し種を取り除きます



カビないように、又作業しやすくするため一旦煮ます



真夏の日差しでよく乾燥させ保存します



10月下旬、稲刈りなど作業が一段落したら、ホウキづくりを始めます。「ホウキ草は捨てる部分がなく、無駄なところは何もない」のだそうです。「私たちのあとはホウキづくりをする人がいなくて…。できるだけ長く続けて行くつもりです」。大変なお仕事ですねとお伺いしたら笑いながらこう教えていただきました、「仕事は楽しくやらなくちゃ、っておばあさんに教えてもらったの」。

取材で訪れた私に、川で自ら釣った鮎やご自宅の庭で実ったみかん等ご馳走してくださいました。「自然の恵みと本当の豊かさ」にふれた思いがしました。ゆったりと流れる川のそばにこそある豊かな時間の流れ、それを感じる一日は、思い立てば誰もが体験できるものです。気づわくなる年の瀬の前の一日を、家族でゆったりと「流れ」を見つめに出かけませんか。帰り道には、地元の自然の恵みの一品、大掃除用のホウキを手にも！？
(塩原慶子)

新装「下井」(木崎一町)に行ってみよう!!

古来から太田鯨ヶ丘には「太田七井」と呼ばれた井があり、一年中枯れること無く、コンコンと清い水が湧いていた。今でいうミネラルウォーターである。
この水は、旅人や近隣近在の人々の喉を潤し、集落の中心的存在であったと思われる。また、この水を売り歩き、生計を立てていた人々も数多くいたと聞く。言い伝えでは、日本で一番早く水を売買したのは、太田が始まりとも云われている。

○ 太田七井で、当時の形を留めてる井は3、4ヶ所だけになってしまったが、その中でも昔のままで現存しているのが「下井」である。
この井は、安政4年に木崎宝光院の神符を奪け、水神を祭り、地域の人々の浄財に依って守られ、その姿を現在に残している。地名もこの下井からのもので下井戸町と称している。



新装された下井水神宮



奉替会の人々が総出で清掃活動



この井戸の中には、52年前に近所の子どもが入れた「うなぎ」が今でも生息しています。蓋を開けてみるのは自由です。運が良ければ姿を見られるかも？

今年もやるぞ!! グローバルフォーラム

今年のフォーラムは、原点に返って、再び、ガイアシンフォニーの上映と、海外からこの茨城に来ている外国人や地域の青少年の意見に耳を傾けて、彼らと共に、彼らの未来と地球の未来、そして私たち一人ひとりの生き方を再考したいと考えています。

- と き：平成16年12月12日(日) 12:30~16:30
 と ころ：生涯学習センターふれあいホール
 内 容：1部 パフォーマンス&スピーチ 12:30~13:50
 ・パフォーマンス
 韓国民芸術、外国の踊り、久自楽舞
 ・スピーチ
 外国からの留学生、地域に住んでいる外国人、地域の青少年等
 2部 ガイアシンフォニー上映 14:00~16:30
 ・「地球交響曲-ガイアシンフォニー第3番-」の鑑賞
 (共催：ひたちおた地球村)

※2部に関しては、整理券が必要になります。

問合せ先：グローバルフォーラムINいばらき2004HITACHIOTA実行委員会
 事務局 岡崎 TEL/FAX 0294(72)4710



日本最長 24時間耐久マウンテンバイクレース

今回開催するのは、その名もズバリ「冬だっぺよ、24時間耐久レース」

モータースポーツの「8時間耐久」「12時間耐久」などは聞きなれている方もいるでしょうが、なにせこちらは生身の人間が走り続けるわけです。

さらに1月は日が暮れるのが早く、休憩するにも冷え込みが厳しく、霜や路面凍結も心配されます。

そんな過酷さを乗り越えてこそ得られる“感動”を求めて全国からつわもの達が集まってきます。



耐久レースって どんなレース？

決められた時間内にコースを何周出来るかを競います。チームの場合には、ピットエリアで何度でも交代出来ます。



選手とともに感動を ボランティア募集

選手を励まし、レースを支えるボランティアは耐久レースのもう一つの主役なのです。

マウンテンバイクレースを知らない方、ボランティアの経験がない方でも歓迎します。選手とともに感動を体験してみませんか。

お問い合わせ

常陸太田市体育協会マウンテンバイク部
事務局 武藤 邦宏
TEL&FAX (0294) 78-0532

第15回

西山公園周辺を元気に歩いてみませんか

市民歩け歩け大会

今回で15回になることを記念して、西山公園を中心に旧所名跡のあるコースを設定いたしました。お一人で・グループで・親子等で参加し楽しんでみませんか。

と き：平成17年1月16日(日) (雨天順延：1月23日(日))

コース：10キロコース、5キロコース があります

集 合：山吹体育館 午前8:45分開会式 9時スタート

参加料：一人100円(保険料等)

対 象：市内または近隣に在住する方、あるいは市内に勤務する方

申込先：スポーツ振興課スポーツ振興係へ、参加料を添えて
(問合先) TEL/FAX 0294(73)1230

締 切：平成17年1月7日(金)

主 催：常陸太田市教育委員会・体育指導員協議会



映画を

観たいこう

ウィークエンドシネマランド

350インチ大画面ハイビジョン映画館にみんな集まれ

ところ：生涯学習センターふれあいホール 入場無料(入場券が必要です)

上映日時 12月18日(土) 10:00~

アニメ「忍たま乱太郎」

忍術学園の忍たま達がウィークエンドシネマランドにやってきた！立派な忍者になるために、忍者のたまごの忍たま達は毎日きびしい(?)修行を続けている。乱太郎・きり丸・しんべえはもちろん、山田先生・土井先生など、いつものなかまが出てきてどんなハプニングが起こるか楽しみ！お友達やおうちの人と見に来てね。

生き物地球紀行「ラッコのゆりかご」

アメリカ西海岸モンレーの海に、地球上で最も成長が早い植物・ケルプと呼ばれる巨大海藻が広がっている。海中から見たその姿はまるで森のよう。まっすぐ上に伸びたケルプには、エビ・カニ・貝などたくさんの動物が住みついている。皆さんおなじみのラッコは、ケルプをゆりかごにしながらお昼寝をし、海にもぐってえさを取って生活しています。そのカワイイ姿をハイビジョンの大画面でご覧ください。

(ウィークエンドシネマ選考委員 秋谷明美)

今回の上映日当日ご来場くださったお子様たちに、ささやかですがクリスマスプレゼントをご用意しております(先着200名の小学生以下のお子様のみ)。どうぞお楽しみにお出かけください。



上映日時 1月29日(土) 10:00~

「黒いジャガー」

1971年製作(100分)

70年代ブラック・シネマ旋風を巻き起こした、傑作ハードボイルド・アクション！私がこの映画を選んだのは、自分自身、ハードボイルドな危険な雰囲気(古い街の飲み屋街などに見られる)が好きということと、親しい古着屋のおじさんに薦められて観たらハマってしまった、という二つの理由から選ばせてもらいました。すべて黒人スタッフ&キャストで製作された異色ハードボイルド・シリーズの第1作で、アイザック・ヘイズの「黒いジャガーのテーマ」は、当時の大ヒット曲となりました。内容は観てのお楽しみとしておきまして、上映当日、私もハードボイルドファッションで身を固めていきますので、そちらの方も楽しみにしてください。(ウィークエンドシネマ選考委員 山田秀樹)

リレー
エッセイ 「思い出の絵本」 ~22~

わすれられないおくりもの

(稲木町 鈴木 稔)

10年ほど前、子どもに読み聞かせをしようと思いつき手にしたのがこの絵本である。この頃の私は、仕事に対して自信(今思えば“傲り”)がついてきた時期でもあった。主人公の姿は私の自信をいとも簡単に崩し、“わすれられないおくりもの”をくれたのである。それは「一人一人の個性に応じる」「生きるための知恵と工夫」という宝物で、この2つは教諭という仕事に携わる私の生涯にわたる信念(仕事観)となっている。

人の個性には“見えるもの”と“見えないもの”があり、なかなか複雑である。また、困難に打ち克つ「生きる力」を培うことも容易ではない。

しかし、私は絵本からもらった宝物を信念にしていくことが、子どもたち一人一人に困難を乗り越えて自分の夢を実現する力を培うことができ、その過程で子どもと共に感動し、人間的な触れ合いもできると考えている。今でも仕事に行き詰まったとき、この絵本を読んで元氣玉をもらっている。



(次回は上河合町 寺門美恵子さん)

ホット
とひといき オンブバッタ

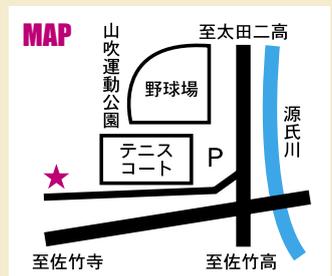


負われているのは実は子どもではなく雄である。25ミリ程度の雄に対し、下の雌は約45ミリ、倍近くある。交尾以外でも雄が雌に乗っているのは他のバッタでも見られるが、名前の所為なのか印象度が違う。

食性では他のバッタがイネ科植物を好むのに対し、オンブバッタは割と何の葉っぱでも食べるそうだ。もっとも雄は雌に乗っている間は殆ど食事はしない。そんなにダイエットをしなくても、雌はつぶれないと思うけどなあ。

(写真と文 関 隆尚・浩美夫妻)

ちよつとひといき
越路



【定休日 月曜日】

営業時間 午前11:00~午後8:00まで(午後2:00~5:00はティータイム)
稲木町字西山岸 1395-4 TEL 72-2333

10月に山吹運動公園のテニスコート奥にリニューアルオープンした「越路」。新しいお店は周りの自然に溶け込むような落ち着いた雰囲気、つつい立ち止まりたくなってしまいます。そばは、わざわざ石臼をひいて作ったそば粉を使いご主人のこだわりが感じられます。午後2時から5時まではティータイムとなり、奥さんが選んだ笠間焼や益子焼の器でおいしいお茶や季節に合わせた手作り和菓子もいただけます。また、お店のあちこちに、ご主人が好きな骨董品や絵などが飾られ、訪れる人達の心をなごませてくれます。足を運んでみませんか。(萩谷 浩司)



「タオル」と「歯ブラシ」のご協力
ありがとうございました

前号(第21号)で、カンボジアの子どもたちへ配るため、皆様へご協力をお願いをしました「タオル」と「歯ブラシ」が、なんと50名(瑞竜中ボランティア委員会、東日本銀行太田支店を含む)もの方々から、「タオル」1,251枚、「歯ブラシ」923本、「ボールペン」100本をご提供いただきました。こんなに集まるとは夢にも思っていませんでした。

歯科診療ボランティアとして参加する鴨志田裕子さんは、ご提供いただいた品々を手に、そして皆様の善意を胸に、11月17日にカンボジアへと向かいました。鴨志田さん、そしてスタッフ一同ご協力をいただいた皆様、心からお礼申し上げます。本当に有難うございました。

